

予防安全に力を入れ、 災害ゼロを目指しています。

労働災害を撲滅するために、災害予防に重点を置いた職場環境の整備を進め、作業従事者の視点や体験を大切に安全対策にも取り組んでいます。

安全への取り組み

幅広い視点から安全の死角解消に努めています。

三井金属グループ各所社は、災害予防(予防安全)に重点を置いた取り組みを進めています。RA(リスクアセスメント)により職場に隠れているリスクを洗い出し、リスクの高い設備を改善する一方、従業員同士が作業に潜む危険性の情報(ヒヤリハット事例等)を共有することで、不安全行動が引き起こす災害を未然に防ぐKY(危険予知)活動にも力を注いでいます。

安全教育

従業員の安全衛生意識の向上を図るため、階層別安全教育やKY教育を実施。また、作業者との対話やコミュニケーションに留意したパトロールを就業日、公休日を問わず行っています。

安全体感訓練

少人数単位で安全体感訓練を実施しています。訓練に際しては、社内で過去に発生した災害を教訓に手作りで作成した安全体感装置を活用し、確かな成果をあげています。



[装置例]感電を体感する装置/床の摩擦係数により滑りやすさを体感する装置

ギヤやベルトに竹や軍手を巻き込ませ損傷度合いや痛みを体感する装置

目や耳に訴える安全の仕掛け

職場では目や耳に訴える安全の仕掛けを重視し、危険箇所の色表示や音声による注意喚起などを取り入れています。また、「安全基本ルール」や「安全最優先」を記した大型掲示板を設置。災害発生場所の標示や、横断歩道や階段での指差呼称指示の標示も行っています。

労働安全衛生マネジメントシステム

常に改善に取り組み、より働きやすい職場に。

三井金属グループは、安全で働きやすい職場環境を実現するため、対象37所社すべてにおいて、労働安全衛生マネジメントシステム「OHSAS18001」の構築を完了させています。現在は、システムの的確な運用に向け、定期的なRAや内部監査の実施、KY活動に取り組んでいます。

労働安全衛生関連法令研修会の開催

労働安全衛生法令の遵守を徹底するために、全所社を対象として労働安全衛生関連法の研修会を開催しています。

労働安全衛生関連法令研修

東京本社	4月10日	36名	竹原製錬所	9月20日	15名
神岡鉱業	5月31日	23名	上尾研修センター	10月18日	46名
彦島製錬	6月28日	21名	三池製錬	11月21日	25名

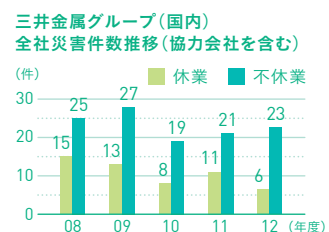
安全監査の徹底

リスクの高い所社では毎年1回、その他の所社では2年に1回、安全監査を実施。リスク評価、危険予知などの安全活動の状況と労働安全衛生法等の遵守状況を確認するとともに、労働安全衛生マネジメントシステムとの整合性をチェックしています。

安全成績

全社災害件数は前年度より3件減少しました。

2012年度のグループ全社災害件数は、前年度から3件減少し29件に、休業災害は前年度より5件減少し6件となりました。労働災害の多くは、法令や安全基本ルールを守ることで防ぐことができます。そこで、管理監督者・従業員・協力会社すべてが安全基本ルールを理解し、実作業の中で遵守するよう指導を強化し、併せて管理職による現場のパトロールも行っています。また、2012年5月からは、独自の設備安全設計基準を作成し、設備の安全性強化にも取り組んでいます。



地域の人々と力を合わせ、 美しい環境を次世代へ。

地域の方々との触れ合いやコミュニケーションを大切にしながら、各所社は、環境の美化や地域貢献活動に取り組んでいます。

「富山県立イタイタイ病資料館」の入場者4万人を突破

資料館では三井金属の公害防止の取り組みも紹介

三井金属は、イタイタイ病の惨禍と公害被害の克服への取り組みを後世に伝えていくことこそ当事者企業の使命と考え、富山県立イタイタイ病資料館の建設に協力しています。



富山県立イタイタイ病資料館

海外の見学者からも高評価

資料館には2012年4月の開館以来、地元の小学生だけではなく海外の大学生なども多数見学に訪れ、1年半で4万人の来場がありました。来場者からはイタイタイ病の歴史に関する各種関係資料の展示、ジオラマや映像を使った解説の分かりやすさ、公害病についての語り部講話、企業の公害防止への取り組みの紹介などを含めて高い評価を受けています。また、今年の夏休みには、自由研究講座や日帰りバスツアーなどが開催され、次代を担う子供たちが公害や環境について学ぶ貴重な学習の場となっています。

よみがえった清流を維持する取り組みを継続

三井金属は、公害病を二度と発生させないという強い決意のもと、公害防止に取り組んでいます。この取り組みにより、現在、神通川のカドミウム濃度は、国の環境基準値を大幅に下回る自然界レベルまで改善し、川はきれいな流れを取り戻しています。これからもグループをあげて、環境汚染物質の排出管理の徹底を図り、地球環境の保全と人命尊重の企業姿勢を貫いてまいります。

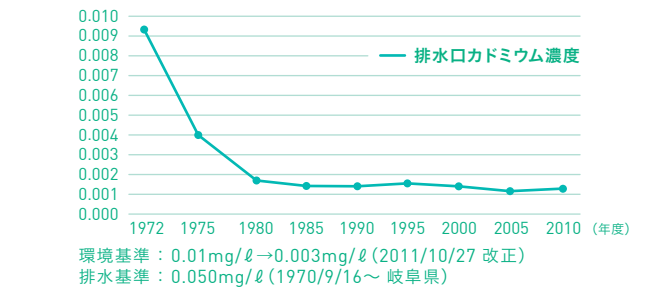


シンガポールの中学生来館



高原川アユ釣りや神岡鉱業

神岡鉱業の環境汚染物質排出量の削減実績



地域貢献活動

さまざまな機会を通して地域との絆を深めています。

三井金属グループは、工場周辺の環境美化を重要な地域貢献活動のひとつと考えています。2012年度は、竹原製錬所、彦島製錬、三井串木野鉱山、特殊銅箔(上尾)、三井金属アクト、メサライト、三谷伸銅、ダイカスト、パーライトなどで従業員による清掃活動を行いました。また、地域の祭りに参加するなど地域との触れ合いを深め、さらに、竹原製錬所、三池製錬、彦島製錬、三井金属アクト、パーライト、ダイカストなどで地域の生徒・学生の体験学習や見学会を受入れています。



公園清掃(日本メサライト工業)



串木野さのさ祭り
(2013年7月14日市中流し踊り最優秀賞)



小学生見学会
(パーライト美方採石場)